地区広報 芸術の森

第54号
2022年12月15日
発行　地区広報・芸術の森編集委員会
印刷　㈱辻孔版社

※題字を変更しました。デザインは札幌市立大学デザイン学部・佐藤ありささん

ウィズ・コロナ禍での活動報告

芸術の森地区連合会　会長　下総　仁志

BEAUTIFUL TOWN 芸術の森地区

◇連合会活動

2022年は、徐々にコロナ感染対策が緩和されてきましたが、連合会としては、コロナ感染対策を講じながら活動してきました。

・真駒内川ヤマメの稚魚放流事業　5月21日(土)

真駒内川に10,000匹のヤマメの稚魚を、小学校の子供たちと共に放流しました。大海に向かった稚魚は、約3年後には成長してサクラマスとして戻ってきます。今年も9月中旬に真駒内川にサクラマスが遡上、昨年より多い数のサクラマスが遡上したように思います。

・芸術の森地区ソフトボール大会　7月3日(日)

コロナ感染対策を行いながら、芸術の森地区ソフトボール大会を石山東公園少年野球場と北海道社会福祉事業団もなみ学園グラウンド(旧石山東小グラウンド)で開催しました。

・PMF応援旗の設置・撤去　6月22日(水)～8月3日(水)

PMFピクニックコンサートが7月30日(土)、札幌芸術の森野外ステージで3年ぶりに開催。PMF応援旗を国道453号線沿線に設置して応援しました。

・第3回オリエンテーリング　10月8日(土)

澄んだ秋空の下、大勢の幼児、小学生、中学生と保護者の皆さんが芸術の森でチェックポイント・クイズや芸術の森主催の野外美術館謎解きイベントにチャレンジするなど、楽しみました。

・不法投棄防止警告旗、擬似鳥居の撤去　11月1日(火)

春に設置した不法投棄防止の警告旗と擬似鳥居を11月1日(火)、撤去しました。擬似鳥居のご利益があったのか、設置した周辺での不法投棄は今年少なく、弁当の空箱やたばこの吸い殻がありました。すべて回収し、2022年度のクリーンさっぽろ衛生推進の活動を終了します。来年も根気よく人の良心に訴える活動を継続します。

・第28回芸術の森地区文化祭　11月5、6日(土、日)

11月に入り一段と秋の景色が濃くなってきた5日(土)、6日(日)に芸術の森センターのアートロビーとレクチャー室で2日間開催されました。

今年は札幌市立大学学部連携(デザイン学部・看護学部)と3年ぶりに北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校が参加。5団体、5学校と一般の参加で、作品数650点が展示されました。来場者数は467人で昨年より約30%増の来場で好評でした。

・常盤中学校2学年「芸術の森地区活性化案」の授業に、ゲストティーチャーとして参加

10月24日(月)、31日(月)、12月5日(月)の3日間の後、12月22日に発表会が開催される予定です。

◇安全・安心マップの作成

本事業は令和4年度から令和5年度にかけて従来の防災体制を見直すと共に、札幌市が作成している各種の防災情報や地域独自の情報を整理して、芸術の森地区の地形に応じた安全・安心マップを作成します。令和4年度は地図の基本データーを作成し、令和5年度に印刷製本して皆さんにお届けします。

◇芸術の森地区新年交礼会は、コロナウイルス感染防止対策上、今年も中止させていただきます

◇2022年度の最後を飾る行事は「芸術の森地区雪あかりの祭典」

今年も芸術の森地区会館、常盤児童会館、札幌市立大学、札幌芸術の森、関口雄揮記念美術館、札幌保養センター駒岡、南老人福祉センター・見晴町内会の7会場で開催されます。期間は2023年1月21日(土)から2月18日(土)の間で、それぞれの会場で行われる予定。詳細は、別途ご案内させていただきます。

新しい事業活動と新年度に向けて

芸術の森地区社会福祉協議会　会長　塩　田　恒　雄

冬到来を迎える時節となり、皆さまには各事業の推進にご協力を賜りお礼を申し上げます。

10月に入り、新型コロナウイルス感染症新規感染者数の急速な拡大が道内で見られ、対策本部は、第８波流行とインフルエンザとの同時感染を危惧し、感染予防対策（マスクの着用、換気、予防接種など）の徹底を挙げております。

○活動状況

各事業（会議、福祉電話相談、子育てサロン、講演会、研修会）は感染防止策を講じ、計画通り関係者の熱意とご支援により活動が行われました。

・新規事業：福まちふれあいブース「福まちってな～に？」（ふれあい交流部）は、芸術の森地区連合会オリエンテーリング大会に地区連合会の協力により、地区福まち事業の啓発活動のため初めて参画し、連携した取り組みにより、成果を上げることできました。約110人参加。

・昨年度「高齢者ひとり暮らし」を対象に実施した福祉に関するアンケート調査結果（調査研修部）を解析し、課題に対応する「情報共有会議」（座長・南区社会福祉協議会）が真駒内福祉総合センターで11月、開催されました。関係機関の区保健福祉課、区第一包括支援センター、介護予防センター、地区社会福祉協議会が参加（会長、福まち委員長、調査研修部長）し、課題解決に向けた話し合いが行われ、今後「継続して活動を進める」ことで意見が一致しました。

○新年度に向けて

地区社協発足後、28年が経過して平成、令和の時代変遷を関係者、関係団体及び地域の方のご理解とご協力により、現在の地区社協の礎が築かれ、特色ある地区社協の活動が図られております。

また、役員改選期にあたり、円滑な運営を推進するため会則の改正、コロナ禍の事業見直し、地区社協事務所の移設など時代にふさわしい体制の整備が必要と考えられます。今後、新型コロナ感染症の感染拡大防止に努めると共に、地域福祉の課題解決に向け、札幌市、社会福祉協議会、地区連合会等と連携し、「みんなで支え合うやさしいまち」をモットーに地域福祉の向上に努めてまいります。ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

●青少年育成委員会●

動き出した青少年育成活動

芸術の森地区青少年育成委員会　会長　松　原　義　雄

新型コロナウイルス第７波の流行もワクチン接種等の効果でようやく収まりつつある一方、また感染が拡大しており、専門家の間では第８波の危機感が強まっています。社会的規制が緩和されても安心できる状況ではありませんが、感染対策を講じながら社会活動が動き出しました。この数年間、できなかった育成活動も今年は以下の通り実施しています。

１．おたる水族館バス見学会

９月３日(土)、地区内の小学生17人が参加し、「おたる水族館バス見学会」を実施しました。水族館の見学会は過去にも例がなく、３年ぶりの見学会となったため、下見をして子どもたちの安心、安全を確認しました。

当日、バスの中では育成委員がガイド役となり、車窓から見える景色の説明やクイズで子どもたちを楽しませ、車中はにぎわっていました。子どもたちは館内の珍しい魚やさまざまな海の生物を興味深く観察し、水しぶきをあげ迫力満点のイルカショーでは歓声を上げて喜んでいました。最後に今日の見学会で一番楽しかったことはと聞くと、子どもたちは「全部楽しかった！」との返答。この言葉に育成委員スタッフも疲れを癒やされ、楽しい一日となりました。

２．南区青少年育成委員会全体研修会

９月15日(木)18時30分～ 20時、Coミドリ体育館、参加者10人

NPO法人Kacotam理事長・高橋勇造氏による「困難な環境を抱える子どもへの学習支援」の講演

３．育成委員ボッチャ体験会

９月18日(日)10時～ 12時、芸術の森地区会館２階、参加者11人。指導者として石山地区育成委員・山田氏を招き、芸術の森地区青少年育成委員対象のボッチャ体験会を実施

４．常盤中学校「囲もう 子育てテーブル」は延期

11月18日(金)15時に予定していた教育フォーラム「どうして勉強するの？ 大人になって役に立つの？」はコロナ禍により延期となりました。

５．小学生ボッチャ体験会

12月10日(土)、地区内小学生対象に芸術の森小学校で開催

〈今後の行事予定〉

○スキー教室

１月28日(土)、地区内小学生対象に藤野・Fu'sで開催予定

●芸術の森地区民生委員・児童委員協議会●

新しい民生委員・児童委員が決まりました

芸術の森地区民生委員・児童委員協議会　会長　下　総　仁　志

《芸術の森地区民生委員・児童委員の紹介》

現在、芸術の森地区では14人の民生委員・児童委員と２人の主任児童委員の計16人が地域の皆さんの身近な相談相手として活動しています。

芸術の森地区民生委員・児童委員の任期は３年。今年は一斉改選の年で12月１日、一斉改選が行われました。芸術の森地区の民生委員・児童委員協議会は16人の民生委員・児童委員のうち６人、主任児童委員２人の方が退任され、民生委員・児童委員の後任者２人が決まりませんでした。

12月から当面の間、後任者が決まるまで同じ町内会の民生委員・児童委員の方が代行します。新任の民生委員・児童委員は４人、主任児童委員は２人の計６人、再任委員と共に頑張ります。よろしくお願いします。

《石山東町内会、真駒内アートパークタウン町内会にお住まいの皆様》

民生委員・児童委員に興味のある方で、民生委員・児童委員の活動を担当していただける方は、下総までご連絡をお願いします。（携帯 090-9088-1010）

芸術の森地区民生委員・児童委員、主任児童委員名簿16人

（2022年12月１日現在、太字は新任委員、敬称略）

民生委員・児童委員（14人）

担当町内会	氏名	担当町内会	氏名
地縁団体石山八区	**長岡　信**	常盤団地	小澤　俊晴
地縁団体見晴	**菊地　悟空**		下総　仁志
石山東	**代行　遠藤　光世**	常盤一区	**鈴木　郁恵**
	遠藤　光世		小林　眞美
	田渕　修二		白木　保義
滝野、真駒内３団	岡部　龍幸	真駒内アートパークタウン	**代行　鈴木　恵美**
サンブライト真駒内	吉野　喜久雄		鈴木　恵美
真駒内駒岡、駒岡団地	**加藤　光信**	常盤２区	佐々木　孝和

主任児童委員（２人）

担当校区	氏名
常盤中学校、駒岡小学校、芸術の森小学校	**小幡　みゆき**　**澤村　和美**

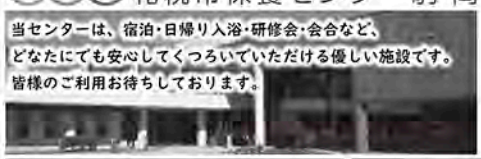
（敬称略）

ゲストティーチャー７回目

連合会役員らが10月24日（月）の６校時に10人、10月31日（月）の６校時に９人、12月５日（月）の４校時に９人が、常盤中学校の「芸術の森地区 活性化案検討ミーティング」に７回目のゲストティーチャーとして参加しました。

常盤中２年生１、２組の総合的な学習の授業に役員が２人１組となり、４つの教室に分かれて生徒からの質問に答え、助言を行いました。「旧常盤小を活用して図書館や勉強スペースを、自然を生かして住民や観光客が楽しめるキャンプ場などをつくる、地域を安全で住みやすい環境にするには」などのテーマについて討論、生徒も役員も真剣に取り組んでいました。

札幌市保養センター駒岡



日帰り入浴のご案内（10時～17時30分）
◆60歳以上等　330円
◆中学生～60歳未満　440円
◆小学生　200円

レストランこまおかのご案内
11時～15時（ラストオーダー14時30分）
麺類や丼物、定食物など
各種メニューをご用意しております。

おすすめプランのご案内　※2022年4月1日現在の料金です。

季節膳宿泊プラン　2名様以上で札幌市内1ヶ所無料送迎付き（要予約）
料金（1泊2食付き）
◆60歳以上等　7,290円
◆中学生～60歳未満　7,890円

老人クラブ・自治会様向けプラン　10名様以上で札幌市内1ヶ所無料送迎付き（要予約）
料金（1泊2食付き）
◆宿泊　5,800円（1泊2食付き）
◆日帰り　2,290円（入浴・お食事付き）

1泊2食5,930円～の通常コース、その他各種プランもご用意しております！お気軽にお問い合わせ下さい♪
※お食事内容は季節により変更となります。
※11月から4月は暖房料が別途かかります。（60歳以上260円、60歳未満320円）

札幌市保養センター駒岡
札幌市南区真駒内600番地20
TEL：011-583-8553
指定管理者：札幌市社会福祉協議会
【HP】

芸術の森地区 雪あかりの祭典予定

12月上旬～2023(令和５年)２月下旬　＊コロナ禍によっては変更あり

1月21日(土)	札幌市立大学芸術の森キャンパス	点灯式、花火、ステージ発表、アートマーケット
1月21日(土)	関口雄揮記念美術館	アイスキャンドル、ジャズ演奏
2月 2日(木)	芸術の森地区会館	スノーキャンドル（12月上旬～２月下旬／イルミネーション点灯）
2月 2日(木)	常盤児童会館	キャンドルカップ作成、地区会館に展示（１月下旬～２月上旬／イルミネーション点灯）
2月 4日(土)	南老人福祉センター・見晴町内会	スノーキャンドル、滑り台１基（12月中旬～２月上旬／イルミネーション点灯）
2月11日(土)	札幌市保養センター駒岡	アイスキャンドル（12月上旬～２月上旬／イルミネーション点灯）
2月12日(日)～19日(日)、13日(月)を除く	札幌芸術の森野外美術館	有料イベント／プロジェクションマッピング、ライブコンサート、キッチンカーほか

●交通安全運動推進委員会●

芸術の森地区連合会　交通安全部長　越　谷　光　雄

○夏の交通安全街頭啓発

猛暑のなか、７月21日(木)10時15分から芸術の森小学校、常盤中学校前の市道沿いで交通安全を呼びかける「夏の交通安全街頭啓発」を実施しました。参加者は全員がマスク着用、アルコール除菌をして開会式が行われ、岡崎札幌南警察署長、奥村南区長、神坂芸術の森小校長に来賓挨拶をいただきました、今回は芸術の森小学校３年生74人、教職員６人が加わり、地域の皆さん、通学路の安全通行のため、ドライバーに向けて元気に旗を振り、安全運転を訴えました。

○秋の交通安全街頭啓発

秋晴れの９月27日(火)13時30分から芸術の森地区会館前の国道453号線沿いで「秋の交通安全運動街頭啓発」を行いました。三密を避け、感染予防対策をして開会式を行い、岡崎南警察署長が「高齢者や子供の事故を防ぐため早めにライトを点灯し、夜に道路を横断する際は明るい服装で、事故にあわないように注意して下さい」との挨拶の後、地域の皆さんが交通事故にあわないよう、ドライバーに対して注意を呼びかけました。

○冬の交通安全教室

冬の交通安全市民総ぐるみ運動（11月13日～22日）の一環として、街頭啓発に同じく女性部、交通安全母の会とともに11月16日(水)13時30分、芸術の森地区会館で30人が参加して「交通安全教室」が行われました。高齢者の交通事故防止などについて南警察署交通第一課・岡崎係長が講話、その後に安全ブレーキシステムやクイック・アーム、クイック・キャッチ、ステップなどを体験しました。

〈交通安全運動推進委員会より〉

芸術の森地区では交通安全指導員が不足しています。どなたかいらっしゃいましたら推薦していただき、まちづくりセンター(電話 592-7009)へご連絡いただきますようよろしくお願い致します

●芸術の森地区女性部会●

女性部長　大　嶋　祐　子

女性部研修見学会で三笠へ

７月15日(金)、芸術の森地区女性部では参加者22人でバス研修見学会を実施、三笠市の「三笠ジオパーク」へ行きました。

同パーク内の博物館ではアンモナイトなどの化石600点が展示してありました。野外博物館エリアでは、クイズを交えながら1.2kmの散策路を地層、石炭、炭鉱などについて専門のガイドさんに案内していただきました。

帰りに「道の駅三笠」に立ち寄り、有意義な一日を過ごしました。

芸術の森で第３回オリエンテーリング大会

芸術の森地区連合会青少年部長　松　原　義　雄

10月８日（土）９時30分、さわやかな秋空の下、「第３回芸術の森地区オリエンテーリング大会」が開催されました。長引くコロナ禍は増加傾向にあり、今回もマスク着用、検温等のコロナ感染対策を行い、地区の子どもたちが安全、安心して楽しめる大会を目指しました。

参加者は地区内の幼児17人、小中学生51人、保護者40人の計108人、スタッフ30人を含め総勢138人。今年は札幌芸術の森工芸館前広場を９時45分に順次、スタート。配布カード記載のヒントを基に ①実行委員会が作成したコース内３カ所のチェックポイントで問題を解く②芸術の森が企画した野外美術館を回る謎解きイベントクイズにチャレンジする、という２種類の設定。野外の美術作品を見ての謎解きクイズは小学生には難しい問題もあり、困っている子どもにはヒントを教える誘導員を配置し、対応しました。参加した子どもたちは「初めての謎解きイベントの問題は少し難しかった」「すごく楽しかったー。来年も、また参加したい」。チャレンジ精神いっぱいの子どもたちの姿が印象的でした。参加賞、景品を手に、子どもたちは笑顔で帰って行きました。

今回のオリエンテーリング大会は、芸術の森野外美術館の謎解きイベントを取り入れ、問題の難易度やコース誘導など苦労した点もありましたが、芸術の森職員の方々のご協力とスタッフの皆さんのおかげで、けがもなく無事終了できたことに感謝致します。ありがとうございました。

「福まちってな～に？」ふれあいブースで活動紹介

芸術の森地区福祉のまち推進センター委員会
委員長　小　林　真　美

10月８日（土）のオリエンテーリング大会で、ふれあい交流部を中心に福まち活動の紹介ブースを設置、ゲームを楽しみながら地域内外の皆さまにその様子、取り組みをご覧いただくことができました。

活動紹介のパネルコーナーでは、子育てサロンの写真で「参加していましたよ、懐かしいです！」、米寿をお迎えの皆さまに芸森小学校５年生にお祝いの絵やメッセージを書いていただき、お届けするまごころハガキ交流事業のハガキ展示では「僕もこのハガキ書いたよ！」などとうれしい楽しい交流の輪が広がっていました。少しずつですが地域の皆さまにも「福まち」を体験していただけていると実感することが出来ました。

ゲームのブースでは「けっこうむずかしいね～」と輪投げを、空くじなしのガラポン抽選会では景品が当たるたびに大きな歓声が上がり、参加の皆さまには楽しく地域の福祉に触れる１日に、そして実動部隊の「福まち」としては今後の活動の新たな目標に向けての貴重な機会となりました。今回、連合会のご協力でオリエンテーリング大会との同時開催を快諾していただき、多くの皆さまに福まち活動を紹介する貴重な機会に恵まれました。ありがとうございました。これからも地域の連携を大切に、温かく楽しい地域づくりを目指して福まち活動を前進していこうと思っています。この事業は、共同募金からの助成金で実施しました。

炎天下での熱戦、第28回ソフトボール大会

芸術の森地区連合会　体育部長　山　田　義　範

７月３日（日）、石山東公園と旧石山東小学校グラウンドで８時30分に開会式が行われ、９時から「第28回芸術の森地区ソフトボール大会」が行われました。

ソフトボール大会は新型コロナウイルス感染防止のため過去２年間中止となっており、３年ぶりの開催。新型コロナ感染症はいまだ終息とはいきませんが、この日は札幌市の気温が30度を超える炎天下のなか、熱戦が繰り広げられました。コロナ予防対策を講じながら地区内７町内会の選手、応援の方、大会役員含め210人が参加しました。暑いなか参加していただいた皆さん、お疲れさまでした。

各町内会チームの順位は以下の通り。

◇優　勝　駒岡・駒岡団地
◇準優勝　滝野・真駒内・サンブライト
◇３位　石山東　　４位　見晴・八区
　５位　真駒内アートパーク　　６位　常盤団地
　７位　常盤・空沼

第28回 芸術の森地区文化祭

芸術文化部長 鈴 木 正 人

11月５日(土)10時～17時、６日(日)10時～15時の２日間、芸術の森センターで「第28回芸術の森文化祭」が開催され、467人の来場者でにぎわいました。小中学生、大学生、地域の方々の芸術作品約650点が展示されました。

コロナ禍にもかかわらず絵画、書道、写真、絵手紙、折り紙、手芸品、陶器など多数の傑作を出品していただきました。作品を出品していただいた方々、ご来場いただいた皆さん、展示会場を提供していただいた芸術の森職員の皆さまに御礼申し上げます。

なお11月２日(水)～６日(日)の５日間、会場設営や調整、受付業務や会場案内、作品撤収や後片付けなどに連合会役員がスタッフとして対応しました。

入所サービス
ショートステイ

みなさまの想いにおこたえいたします

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
〒005-0849 札幌市南区石山837-47

アートヒルズ

通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ

みんな しあわせ 365日
0120 FreeDial 0120-348-365

永久に生きる。花と緑の明るい聖地

真駒内滝野霊園

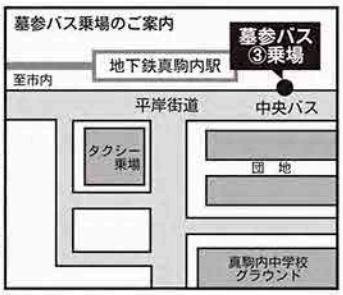
■お問合せ 真駒内滝野霊園管理事務所 ☎(011)592-1223(9時～16時)
http://www.takinoreien.com

真駒内滝野霊園 墓参バスのご案内

■墓参バス出発時刻

地下鉄真駒内駅前発	
10：10(4月～3月)	12：10(4月～11月のみ)
真駒内滝野霊園発	
11：30(4月～3月)	13：30(4月～11月のみ)

●お盆・お彼岸期間中は定期便を運休し、特別便を運行いたします。
●年末年始は運休します。
※詳しくは管理事務所までお問合せください。



札幌市立大学と学部連携演習

本年度の札幌市立大学３年の学部連携演習では、芸術の森まちづくりセンターで使用されていない管理人室のリフォーム提案に取り組みました。

10月11日(火)に芸森地区の連合町内会の役員方々から、芸術の森地区の特徴やまちづくりセンターの活用の現状のお話をいただき、それをもとに「里山」「ふらっと寄れる」「若い人」をキーワードに、リフォームだけでなく、各世代の発達段階を考えた活用案も提案することになりました。

学生たちがアイディアを検討し、第１次案としてまとめ、10月29日(土)の連合町内会の皆様とのワークショップで活発な意見交換をしながら検討を行いました。いただいたご意見をもとに、より具体的な提案として立体模型や説明パネルなどを制作し、芸術の森地区文化祭で住民の方々からご意見をいただくことになりました。

11月５、６日(土、日)に芸術の森センターで開催された芸術の森地区文化祭では、小学生からその保護者や老人会の方々など、多くの方々にアンケートに回答をいただき、さまざまなご意見をいただくことができました。

いただいたご意見をもとにリフォーム計画をブラッシュアップし、大学の成果発表会で報告しました。今回の提案をもとに、連合町内会の皆様が住民の意見を反映しながら、住民がウエルビーイングに暮らすことができる提案につなげていけることを願っています。

デザイン学部・若林尚樹教授と看護学部・村松真澄准教授とデザイン学部と看護学部の３年生16名が参加しました。(文責：札幌市立大学　若林、村松)

もなみ学園分校生徒の作業を見学

芸術の森地区まちづくりセンター職員　川　島　真由美

８月30日(火)11時、まちづくりセンター職員、連合会役員らが地区内の北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校を見学しました。

芸術の森地区連合会の理事、まちづくりセンター職員が使用している現在の名刺は、もなみ学園分校・高等部リサイクル班の皆さんが作成してくれました。 生徒の皆さんに直接お礼の気持ちを伝え、名刺作成の作業風景を見学させていただきました。

学校給食での牛乳パックを利用して分解、乾燥、計量、紙すき、成型の工程を経て出来る再生紙の名刺。何気なく手にしていた名刺がこんなにも細かい作業があることを知らずに驚きました。色を付けたパルプ水の配合により、完成時には鮮明な色あいや渋めの色、マーブル調と同じ色の紙は二度とできないとのことでした。一つ一つの仕業に集中して取り組む姿は、たくましさを感じました。今後も感謝の気持ちを込めて名刺を大切に使用させていただきます。

第１回 パークゴルフ大会

芸術の森スポーツ振興会　会長　佐　藤　優　司

９月25日(日)８時、パークヒル真駒内で男性46人、女性35人の計81人が参加して芸術の森スポーツ振興会主催「第１回パークゴルフ大会」が行われました。この日は好天に恵まれ、18ホールで個人戦が行われました。成績は以下の通り。

◇男性の部

優勝　西谷公志さん(アートパーク町内会)、２位高橋晴実さん(石山東)、３位岩本順二さん（常盤団地)、４位森喜代三さん(石山東)、５位金子侑さん(アートパーク)

◇女性の部

優勝　三好亮子さん(見晴町内会)、２位小野寺美代子さん(常盤１区)、３位西谷留美子さん(アートパーク)、４位池田和子さん(常盤１区)、５位伊東久枝さん(アートパーク)

第７ブロックの活動状況

南区老人クラブ連合会第７ブロック　会長　吉　田　育　夫

１．総会、役員会

４月中旬に開催予定の定期総会は、コロナ感染症の予防のため「書面表決」となりました。６月の第１回役員会も中止、９月12日(月)に役員会を開催しました。

２．交流研修会

11月17日(木)、保養センター駒岡で各クラブの役員34人が参加して開催。テーマは「令和４年度の活動状況と今後の課題」で活発な議論が交わされた。午後から懇親会やカラオケの競演など交流を深めることができました。

３．その他の諸活動

「パークゴルフ大会」は10月４日(火)の予定が雨天のため中止。「みんなで歩こう会」と「ふれあいの集い」は三密を避け、三年連続して中止となりました。

ふれあいの森でオリエンテーリング、歓迎食事会

芸術の森地区少年消防クラブ　部長　上　田　敏　寛

芸術の森地区少年消防クラブは６月25日(土)10時～14時、札幌市清田区有明の「札幌ふれあいの森」でオリエンテーリングと食事会を行いました。

当日はクラブ員13人、指導者、保護者、来賓の方を含め27人が参加しました。オリエンテーリングでは集団行動、地図の見方の訓練を行い、その後は施設内で木材を利用したオリジナルコースターを作成し、新入クラブ員歓迎の食事会を行いました。この日は晴天に恵まれたこともあり、子供たちも生き生きと活動していました。

今年度は芸術の森小学校２年生の梅本藍良(あいら)さん、岡部朱音(あかね)さんの２人が新しく仲間になりました。どうぞよろしくお願いします。今回の訓練では滝野消防団長、ふれあいの森施設の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。今年度もコロナの影響で活動機会が減っていますが、今後も感染予防に配慮しながら訓練、行事を行っていきます。

芸森の寺子屋ついに100回を突破！

無料学習塾代表　横　山　憲　治

芸術の森地区会館を会場にした「いっしょに宿題しようよ！ 無料学習塾」。活動を続けて残すところあと３カ月で満３年。11月10日(木)には、ついに学習会「第100回」を超え、紅白まんじゅうならぬ豆大福などの「精勤賞」でお互いの学習努力を祝い合いました。

毎週木曜日に小学生の部、続く中学生の部に分けての学習会、先生役は町内ボランティアの中高年のオヤジ４人と女性１人。毎回子どもたちは算数、数学、英語、国語の教科書やワークを持参して基礎学習に挑んでいます。通って来る子の中には来春の高校受験や中学進学を控え、「ここが分からない箇所です」と、ヤル気満々の質問です。国語では、当日ペアとなった担当者が「この文脈にある大切な心根はね…」と一緒になって読み解く。テスト前の学習を済ませた小学生は「これで準備ができたかなぁ～」とちょっと自信をのぞかせる子もいて、教えていた先生役のうれしさを誘います。

また、この11月には北大文学部の講座・教授からこの活動が大いに関心を持たれました。当塾のスタッフが授業に招かれ、学生らから「地域の社会活動とは？」「ボランティアをする定年後の幸せ感は？」など質問が相次ぎました。さあ、４年目は？（問い合わせ先:横山憲治090-1645-2507）

12月にクリスマス会 子育てサロン

芸術の森地区福祉のまち推進センター
子育て支援部長　清水 智子

○今後の開催日(水曜日 10:00～11:30)
12月 21日／1月 11、18日
2月1、15日／3月1、15日

○会場:芸術の森地区福祉のまち推進センター
(南老人福祉センター内、石山緑地隣り)

子育てサロンではボランティア
スタッフを募集しています。
仕事の内容は見守り、準備、片付けなど
可能な範囲でかまいません。
お待ちしています。
(連絡先：080-6072-3291 清水)

子育てサロンでは元気な声が響いています。新しいお友達が加わり、親同士の交流も広がり、「親子が楽しく遊べるつどいの場」として活用されています。おもちゃ遊びや絵本の読み聞かせのほか、季節に合わせた製作や行事なども好評です。

７月の七夕は、うちわ作りと紙テープの手作りお星様すくいに大喜び。9月7日(水)は青空の下、3年ぶりに円山動物園見学（貸切バス利用)、21日(水)は南老人福祉センターの協力により、秋の収穫をしました。10月はハロウィーンのキャンドル作り。紙袋に絵を描いたり、シールを貼って飾りつけを楽しみました。11月は歯科衛生士さんによる虫歯予防の講話に、みなさん熱心に聴き入っていました。12月21日(水)はクリスマス会を予定しています。みなさん、遊びにいらして下さい。お待ちしています。

フラワーロード花壇最終清掃を終えて

芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会　代表
小林　保則

時々弱い秋雨の降る10月23日（日）、今年最後の花壇の手入れが行われました。５月の末から５カ月間花壇を彩ってきた花たちの卒業式です。マリーゴールド、赤サルビア、ブルーサルビア、インパチェンス、ベコニア、アリッサム。

今年は花植えの後、適度な雨と日照に恵まれて夏の間、見事に咲き誇っていました。その分、秋の訪れは少し早くやってきたようです。住宅街の庭に咲く花々と国道花壇がつながって町中が花の話題であふれていくのが、私たちの願いです。

「国道花壇が花で彩られる。それが当たり前の光景」。22年前、花が咲かなくなってから、そのことに気づいた事を繰り返さないように活動を続けています。花を咲かせる会は、地域住民を中心としたボランティア団体です。多くの方々の参加をお待ちしています。

PMF応援旗を設置、撤去

芸術文化部長　鈴　木　正　人

７月16日（土）～８月２日（火）に開催されたパシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）。７月30日（土）には芸術の森野外ステージでピクニックコンサートが行われました。これを応援するため連合会役員が６月22日（水）９時、国道453号線沿い５カ所にＰＭＦ応援旗約150本を設置、音楽祭終了後の８月３日（水）に撤去しました。

不法投棄警告旗、鳥居を撤去

環境衛生部長
中　田　たみ子

11月１日（火）９時、枯れ葉が風に吹かれ舞い落ちる中、春に設置した不法投棄防止警告旗20本、12カ所の擬似鳥居を連合会役員で撤去しました。

同時に行った周辺のゴミ拾いでは、思いのほか捨てられたゴミの量は少なかったのですが、車から投げ捨てられた大量のタバコの吸い殻、弁当の空箱、空のペットボトルなどがありました。このようなゴミは持ち帰りましょう。警告旗、鳥居設置の効果は少しずつ表れていると感じています。芸術の森の豊かな自然を大事にしましょう。

就任のご挨拶

芸術の森小学校　教頭　笹　野　直　人

11月１日付で芸術の森小学校の教頭として着任いたしました笹野直人です。私の実家が石山東にあり、芸術の森地区とはご縁を感じております。元気な子どもたち、日々一生懸命な本校の教職員、あたたかな保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせて学校づくりを進めてまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

～表　彰～

≪個人受賞者≫

◎令和４年度北海道社会貢献賞（青少年健全育成功労者）（2022年９月２日）
駒岡団地町内会　前口　敦司さん
地区内青少年健全育成に尽力された功績を称えて

◎令和4年度札幌市優良青少年及び青少年育成者表彰（2022年11月19日）
常盤団地町内会　森　喜代志さん
札幌市における青少年育成活動推進に貢献

◎南区クリーンさっぽろボランティア実践者表彰（2022年11月21日）
常盤団地町内会　藤田　二三雄さん
町内会内の清掃など環境美化活動への貢献

◎令和４年度札幌市民憲章実践者表彰（2022年11月24日）
石山東町内会　廻川　一利さん
市民の模範となる札幌市民憲章実践者としての功績

札幌芸術の森美術館展覧会
野田弘志　真理のリアリズム
11月19日（土）～2023年１月15日（日）

編集後記

７月に３年ぶりのソフトボール大会、10月にオリエンテーリング大会、11月に文化祭と連合会活動は徐々にではありますが、回復しています。しかし、道内のコロナ感染者数は増加傾向にあり、新年会が中止になるなど、まだ予断を許さない状況です。

国葬、五輪汚職、円安、旧統一教会、ウクライナ問題など暗いニュースが続く中でのドーハの歓喜、サッカーW杯で日本が２勝１敗として決勝トーナメント進出といろいろありましたが、今年も残すところあと半月。2023年はコロナ禍が収束に向かうこと、３月開催のＷＢＣで栗山ジャパンが、今年最下位に終わったファイターズが新球場で、攻守に躍動する姿を期待して。

地区広報「芸術の森」編集委員会
委員長　佐久間久幸　　委　員　下総　仁志
副委員長　福田　知子　　委　員　藤原　容子
委　員　福与　雅人